

なるなる通信 なるなる面会通信 新年合併号

2021 年元旦 発行者：
一般社団法人アイエムアイ



代表ごあいさつ

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。旧年中は、皆様大変お世話になり、そして沢山のことを学ばせて頂きました。一年間を振り返り心に残っていることは、新型コロナウイルス感染症より何より「ここが一番安心の保育園です」「なるなるに行くことを子どもがいつも楽しみにしています」等、お客様からのあたたかい言葉を沢山頂いたことです。本当に励みになりました！なぜそれほど嬉しかったのかを考えてみました。なるなるを必要としてくれたから？なるなるの存在価値を認めてもらえたから？スタッフの頑張りがお客様に伝わったから？...その全部が嬉しかった理由です。



2020 年の大きな出来事である新型コロナウイルス感染症の流行は、多くの混乱や不安が生じましたね。世界中でイベント等が中止となりました。イベントだけではなく、日常生活でも「with コロナ」の発想が必要になり、企業や学校も大きな変革が求められましたね。アイエムアイも、事業の一つである「イベント保育事業」のエンジンが一時ストップするなど影響を受けました。そのような「いつまでこの状況が続くのだろう」という沢山の不安の中で、自然と誰もが「どんな風に今後を生きていこうか」と考える時間があつたのではないかと思います。だからこそ、新型コロナウイルス感染症を契機とし、転職・離職・共働き...様々な人生選択が多くの人たちにあつたと思います。アイエムアイで働いている保育者達は新型コロナウイルス感染症の流行を正しく恐れ、そして対策を尽くしてくれました。仕事が減っても不平不満を言わず共に壁を乗り越えようと、逆に私を励ましてくれました。深い絆が結ばれたような気がします。子ども達や私の笑顔の裏には、保育者達のあたたかい想いやサポートがあるのだと改めて気づかされた一年でした。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いいたします！



アイエムアイ保育士長 木村 睦美



新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスが猛威をふるい、イベント保育や一時保育が減った時期がありました。そんな中でも数回、イベント保育に携わることができ、日常の保育ができることの素晴らしさを改めて感じる事ができました。まだまだ終息の目処はたつていませんが、手洗いうがいなどの感染症予防や、免疫力アップを心がけながら保育に臨みたいと思います！

今年もどうぞよろしくお願いいたします(*^^*)



アイエムアイ顧問弁護士 皆川 洋美



今年の干支は牛ですが、「商いは牛の涎」という言葉があるそうです。商売のこつは、牛のよだれのように細く長く切れ間なく、気長に辛抱して続けることだ、という意味。

昨年は、Covid-19 の感染拡大で、多くの人たちが少なからぬ影響を受けたと思います。アイエムアイの事業も、保育で利用されている方々の事業も、あるいは皆さんの面会交流も、細く長く切れ間なく続けることができるよう、今年も陰ながらアイエムアイを支えてまいります。

